

米海軍岩国診療所見学を実施しました！

実施概要

- 1 趣 旨 臨床研修医が海外医療機関の診療状況等を学ぶ良い機会となることから、臨床研修の一環として実施
- 2 見学先 米海軍岩国診療所（岩国市三角町 米国海兵隊岩国基地内）
- 3 実施期間 令和5年11月8日（火）、11月14日（水）8時30分～15時15分
- 4 参加者数 11名（1年次研修医：7名、2年次研修医：3名、歯科医師1名）

【米海軍岩国診療所見学 研修レポートから（抜粋）】

・敷地内が海外にいるみたいな感じで、日本の中にこのような場所があることに驚いた。そして、診療室の中も日本の病院とは雰囲気異なり、日本と海外の違いを感じることができ、とても良い経験になった。日本だけでなく世界の様々な医療環境に興味を湧いてきた。（1年次）

・問診だけで8割診断がつくと聞くが、まさにそれを体現するかのよう、丁寧な問診をされていた。また、日本では血液検査結果、CTなどを用いて説明するが、それらは少なく、言葉や手書きの図を用いた説明が多かったが、患者は納得した表情で診察室を後にし、説明するスキルの高さを痛感した。（1年次）

・産科を見学した。陣痛室と分娩室が一つになっていることで妊婦が移動する必要がない仕組み、その部屋で家族や新生児も一緒に過ごせ、一つの部屋で正常分娩がすべて完結するようになっており、かつ家族もそれを共有できるシステムは大変興味深かった。また、海軍の帰港のタイミングで妊娠するため繁忙期とそれ以外の時期が明確に別れているということも基地内の診療所ならではの経験だった。ここで働くためにはどのような手続きが必要なのか、今働いている先生方の経歴なども聞くことができ、大変有意義な時間を過ごすことができた。当院と診療所の役割の違いなどに改めて理解し考えるきっかけとなった。（2年次）

・海兵隊員用の診療所を見学した。5人の医師で、1人あたり200-300人の患者を診ていた。診療所の画像検査はレントゲン撮影しか行えないということに驚いた。日本とアメリカでは保険制度が違って医療訴訟の件数も多く、クリニックと病院の役割の差がはっきりして、文化の違いが大きいため配慮しなければいけないことが多数あると伺った。文化や医療制度の違いにも心を配って齟齬のない医療を行うことが必要と感じた。（1年次）

・先生の診察能力の高さに驚いた。日本ではマイナーだが、米国では家庭医はすごくメジャーな科のようで将来選択する科としても良いのではないかと考えられるようになった。（1年次）

・家庭医外来を見学した。内科的診療はもちろん、皮膚疾患や整形疾患、産科外来、生検などといった幅広い診療や手技をこなしていた。患者は複数の診療を受診する必要もなく、とても合理的だと実感したが、その分幅広い知識が必要であるため大変な診療科であると感じた。また、診療所であり、治療や検査には大きな制限があることを初めて知った。CTやMRI検査がなく、入院施設もない。そのため、頭部外傷でCT撮影が必要なだけでも紹介をしなくてはならないし、腎前性腎不全で補液加療継続するだけの方針にもかかわらず、点滴の制限があり紹介をしなくてはならないという法律的な決まりがあることも知った。（2年次）

・外来診療を見学した。先生が患者に歩み寄り親身になって、病気だけでなく、メンタル面や生活のこと等も聞きながら診察をしている場を見て、まさに「患者さんを診る」とはこのことだな、と感じた。今後自分が患者の診療の場で参考になる、貴重な経験ができた。クリニック内の設備は、CTはなく、ほとんどが問診や身体診察とエコー、レントゲンで診断し、必要があれば基地外の医療施設に搬送を行っていた。自分たちが普段、救急対応で行うことができる検査環境がとても充実していること、そして問診や身体診察の重要さも感じることができた。(1年次)

・問診の量に驚いた。CTやMRIの設備はなく、医療機器が限られている診療所で、いかに侵襲的かつ高コストな検査を不必要に行わず、患者の情報を得られるかに重点が置かれていた。そのために問診で患者から可能な限り現病歴、既往歴、生活歴などを引き出すことが肝要であると考えた。(1年次)

・年齢・性別に関わらない非常に幅広い医療に私は驚いた。また、こういう医療もあるのかと同時に興味も湧いた。知らない世界をまた一つみることができた。(1年次)

・小児科にて診察を見学した。本邦の診察と比較し、医師と患者、患者家族がよりフランクに会話をしており、患者側が医師へ質問・相談などをしやすい環境や雰囲気を作られているように感じた。診察室に医師が常駐し患者を呼び入れるのではなく、患者の待機している診察室へ医師がその都度出向いていくという形式であり、リラックスした状態で患者が診察に臨んでいるように感じた。米国の診療形態の一端に触れることができ、非常に興味深く貴重な経験となった。(2年次)

・歯科診療所を見学した。診療室の設備や診療見学をはじめ、またアメリカのライセンスを持つ歯科 Dr. とも交流し、とても刺激になった。一般的に歯科診療は、治療に時間を要することや、治療に回数がかかることが多いが、岩国診療所では軍人の歯科治療を主に行っているという特徴があるため、診療スタイルにも特徴があった。軍人の急な異動にも対応できるよう、長時間の診察になっても一度の治療でなるべく終了させるという、患者の体力面や診療面においても一般歯科診療では難しい時間の取り方で診療を行っていた。また、一度の歯科治療でなるべく終了できるように技工室の設備も充実しており、口腔内スキャナーを用いたCAD/CAM冠の即日装着や、インプラント治療、歯列矯正治療など多岐にわたる診療が行える体制が整っていると感じた。また、歯科 Dr. はそれぞれの専門性に完全に分かれた診療を行っており、日本では大学病院で行うような診療スタイルに似ていると感じた。今回海外の Dr. や歯科衛生士との交流を通じて、改めて海外の治療技術や設備などを、学んでいく必要があると感じた。今回の見学で得た知識を今後の診療にも活かしていこうと思う。(歯科医師)

